



高校卒業して、大阪市役所に採用されました。当時は、「勝ち組」とか「負け組」とか言われていた時代。それから20年が過ぎ、これまでに振り返ってもういません。

働きがいある職場 前向きにがんばれる 環境をめざします

はじめは大阪市職（自治労）に入りました。組合説明会で普通に加入用紙を書いたと思います。労働組合に入ったという実感はありませんでした。

職場に配属されて、青年部のイベントなどがあって、その後、青年部の役員もやりました。でも、組合が何をやっているのかはよく分かりませんでした。

組合の運動がよくわからないまま、5年目だったと思いますが、自治労大阪市職をやめて大阪市労働組合に入りました。身近な職場の同僚には「組合を変える」ことを話してはいましたが、実際、その時は周りからすごくいろいろと言われましたね。自治労のニュースにも書かれたと思います。

大阪市労働組合に入ってから、すぐに青年部の役員をやりました。役員をすることにあまり抵抗はなかったです。でも、大阪自治労連の青年部役員になってから忙しくなりました（笑）。

大阪市が変われば 日本が変わる

市役所の中に行くと分からないけど、いろんな自治体の青年と話をしている中で、大阪市の問題にも気づきました。当時、先輩から「大阪市が変われば日本が変わるよ」と、よく言われたことを思い出します。

自分にとって衝撃的だったのは2012年の「思想調査アンケート」です。組合役員だったし、橋下市長のもとで、みんなどうなる



定期大会で方針提案する八尾新書記長（9月13日）

のかと思っていた矢先に起きた事件です。やっぱり大阪市はおかし

二度目の住民投票に 道理はない

コロナ禍の状況もあり、2015年には「二度とやらない」と言ったのに、維新は忘れ去ってしまったのか。今回の住民投票はまったく道理がないと思います。市民の多くは、コロナ禍中でのいのちや暮らし、営業など今の生活のしんどさを感じています。そして現状を打開してほしいと思っています。それを利用して、維新はバラ色の絵を描いて見せている。今回、投票に行ってもらいたい。『反対』と書いてもらわないといけない。市民世論をどう拡げることが課題だと思います。政令市である大阪市の値打ちを語ることが、私たち自治体労働者の役割だと思います。

**働きがいもてる職場に
身近に、一緒に、前向きに**

書記長になったからには、市労働組合の組合員が働きがいをもって、前向きに働いていける環境をつくる手助けができたと思います。組合員一人ひとりと身近に、一緒に、何事も前向きにすすめられるようにやっていきたいです。

大阪自治労連第33回定期大会



守口学童保育指導員労働組合の仲間が、共同メンテナンส์による雇止め撤回、不当労働行為を許さないたたかいへの支援を訴えました

新型コロナ危機を乗り越え いのちと暮らしを守る 新しい社会を築こう

「団結ガンバロー」に替えて
「都構想NO!」をアピール



おおさか
自治体の仲間

発行：大阪自治労連(大阪自治体労働組合総連合)

2020年9月15日

No.366
(部内資料)

〒530-0041 大阪市北区天神橋一丁目13番15号
大阪グリーン会館4階 ☎06-6354-7201 FAX06-6354-7206
E-mail:mado@osaka-jichiroren.jp
URL:http://www.osaka-jichiroren.jp

発行人／有田 洋明 編集人／荒田 功
毎月15日発行（1部10円）組合員の購読料は
組合費に含まれています。